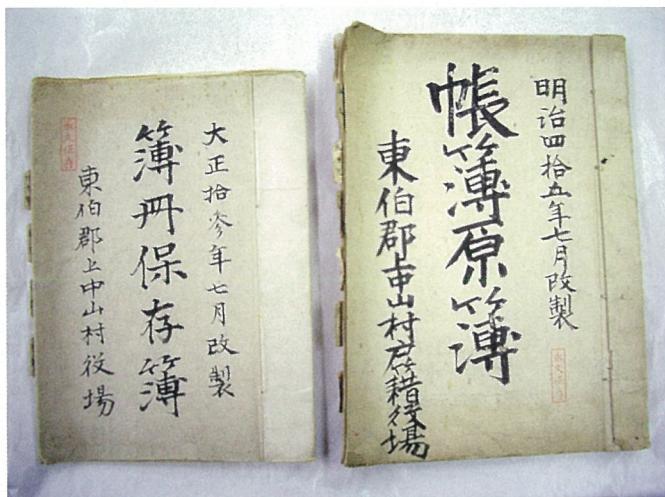


連隊区司令部ヨリノ通知(昭和20年) 鳥取県立公文書館蔵

日野郡二部村役場の『兵事動員ニ関スル日誌』という簿冊に
挟み込まれていたメモ書き。昭和20年8月15日午後8時付の
記録である。昭和12年から作成された簿冊には、「召集者」
の記載があり、その関係で残されたものと考えられる。昭和
20年11月24日まで記録されている。戦時公文書の焼却を記載
した文書として貴重である。
(安藤 15頁)

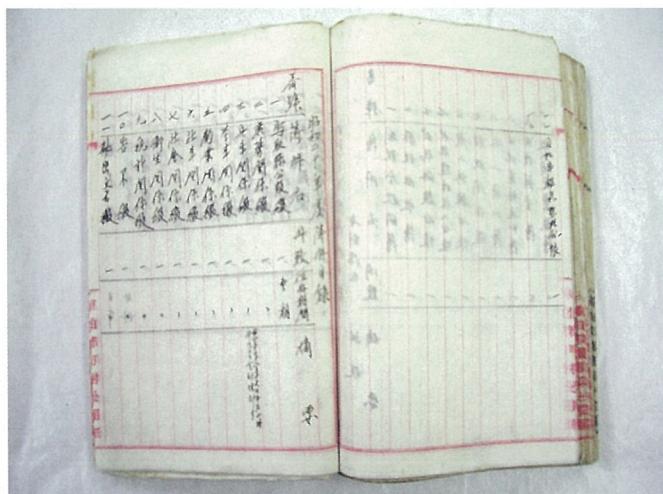


『帳簿原簿』及び『簿冊保存簿』

大山町中山支所蔵

戸籍関係の簿冊は別途目録が作成され、通常の『簿冊目録』
には現れてこない。

(清水 32頁)



『簿冊目録』(中北条村役場)

北条歴史民俗資料館蔵

「兵事関係綴」(番号三)の「摘要」欄には、「昭和二十年八月十六日午后二時命により全部焼却す」とある。(清水 61頁)

Tobon 18 January 1876

After our arrival here, it has become evident to me that to make a plan, there must be done some surveying work, which the Tottori men officers do not understand without aid.

Therefore it is very desirable that Mr Shimada come here with a good leveling instrument, which is wanting here, and, in order to lose no time, that he comes immediately.

The Governor of this ken will ask you for Mr Shimada at the same time as this letter. I beg to request you most earnestly to grant his demand and to send Mr Shimada at sum as possible.

Your obedt Servt

P. H. Brown
Engineer of Works

Mr. S. J.
Shimada no keisei

Yaka.

エッシャーより小野土木寮大阪分局長宛書簡（明治9年）

淀川資料館蔵

明治9年に来鳥したエッシャーは、鳥取に測量器機がないこと、その器機を扱える人物がいないことに気づく。そのため、大至急技師と器機を運んでくるよう依頼した。この書簡は、鳥取県に関する最も古い英文書簡と考えられる。

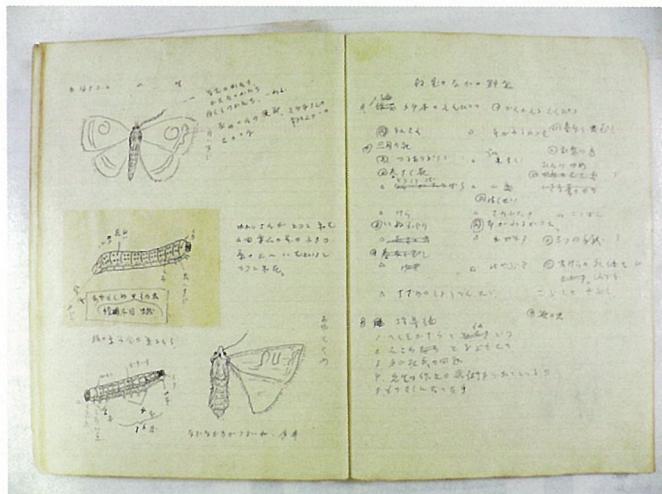
（伊藤 69頁）



峰地光重の日記『生活順礼』

個人蔵

昭和27(1952)年～35年まで書き続けられた。あわせて34冊に及ぶ。
(田村 93頁)



『生活順礼』 7

個人蔵

昭和29年5月12日の記述。右頁は教材の蛾のスケッチ、左頁は『はらっぱ教室』の構想。
(田村 115頁)